

## 日本海域火山データベース

The database of the marine and submarine volcanoes in the Japanese Waters

# 笹原 昇[1], 千葉 達朗[2], 小原 泰彦[1]

# Noboru Sasahara[1], Tatsuro Chiba[2], Yasuhiko Ohara[1]

[1] 海洋情報部, [2] アジア航測

[1] Hydrographic and Oceanographic Dept.of Japan, [2] Asia Air Survey

日本火山学会の「日本の第四紀火山カタログ」及び産総研の「日本の第四紀火山」が、火山に関するデータベースとして、近年相次いで CD-ROM や Web で公開されたが、いずれも海底火山に関する情報が不足気味である。

海上保安庁海洋情報部（旧水路部）では、100 年以上の長期間にわたり、海上における安全確保のため、日本周辺海域の海底火山噴火の観測調査を実施してきた。しかし、それらの中に含まれている学術上貴重な情報が、必ずしも全て印刷公表されてきたわけではない。そこで、現在、火山噴火予知研究・防災業務に寄与することを目的とし、Web での公開を前提として、これまでに蓄積された過去の観測情報をデジタル化・データベース化する作業を進めている。ここでは、その一端を紹介したい。

整理対象とする項目は、主たるものとして、観測日誌、船上写真、航空機からの写真、ビデオ映像などであるが、その他、海底地形調査、地磁気・重力測量、地震波探査、岩石化学分析結果などをデジタル化している。これらには、地球物理学的・地球化学的・火山学的に有意義な情報が含まれている。Web ページでは、最新のスマッピングの成果を生かした「海底地形図」のカラー画像のほか、過去の貴重な海底噴火の画像を豊富に紹介する。特に、「明神礁 1952 年噴火」・「福徳岡ノ場 1986 年噴火」等の画像には、これまで未公表だったものが多数あり、最新の画像処理技術によって、フィルムの傷の修正やサイズ調整も行い、動画としての閲覧も可能となっている。

本データベースは、近日中に海洋情報部ホームページ（[www1.kaiho.mlit.go.jp](http://www1.kaiho.mlit.go.jp)）にて公開の予定である。